

大学史教育を通じた進学適性の自覚促進に関する研究 (3)

— 中等教育と高等教育の接続関係改善に向けた大学情報提供の在り方について —

西原 利典 森脇 政泰 小宮山道夫

1. はじめに

本研究は広島大学附属高等学校（以下、附属高）生徒の進学適性に対する自覚の形成に、大学情報の提供、とくに大学史教育がどのように寄与できるかを考察しようとするものである。平成21年度より第2期プロジェクトに入り、平成18年から20年まで実施した第1期の研究方法に次の3つの変化を加えている。一つは附属高主催の進路学習の一環として行われる大学訪問の一プログラムとして講義を組み込んだこと。もう一つはそのことにより附属高の自校史の講義を省き大学史の講義のみとしたこと。そしてもう一つは大学史の講義を受けさせた集団（広島大学東広島キャンパスを訪問した集団）と受けさせなかった集団（広島大学霞キャンパスを訪問した集団）とを設けて、2集団間の違いを考察する方法に変更したことである。但し今年度は日程の都合で第1期と同様の附属高への出張講義となり、3つめの集団比較はできなかった。

本研究の動機および研究方法については『広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要』（第35～39号、2007年～2011年）を参照願いたい。

2. 研究の対象および事前調査の内容

平成23年度の附属高第1学年の生徒191名を対象に、生徒にとって比較的身近な広島大学を例にして日本の大学教育制度に対する理解を深めさせる講義「日本の大学の歴史」を8月31日に提供した。これらの授業の前後にアンケート調査を実施し、生徒たちの意識の変化をみた。事前調査は講義実施日の前週、事後調査は講義実施直後に実施した。

対象生徒数および回答者数については表1にみるとおりである。表中の括弧内の数字は女子で内数を表す（以下同様）。生徒191名のうち、事前調査に回答を得られたのは187名分であった。事後調査については、講義を受けた生徒185名分の回答を得た。

事前調査ではこれまでの調査と同様に、調査対象の

過去の進学動向を調べるため、附属中学校や附属高への進学理由を質問した。附属中学出身者数は表2にみるとおりである。

表1 附属高校第1学年生徒数及び回答者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
生徒数	38 (17)	38 (17)	39 (17)	38 (17)	38 (17)	191 (85)
事前調査 回答者数	38 (17)	37 (17)	39 (17)	37 (16)	36 (16)	187 (83)
事後調査 回答者数	37 (16)	38 (17)	37 (16)	36 (16)	37 (16)	185 (81)

表2 附属中学出身者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A Yes	24 (12)	24 (12)	24 (12)	24 (12)	23 (12)	119 (60)
B No	14 (5)	13 (5)	15 (5)	13 (4)	13 (4)	68 (23)

附属中学校出身者119名に対し、附属中学校への進学理由を最大3つまで回答させた結果が表3で、同様に附属高の生徒全員に附属高への進学理由を回答させた結果が表4である。主要な進学理由としてはいずれも「A中高一貫」「B男女共学」「G校風」が突出して多く、附属高に関しては当然の事ながら「Jほかにない」が附属中学校に比して大きく割合を増している。

このような母集団に対し、大学進学についてどの程度具体的に考えているか、また大学や広島大学についてどの程度関心をもっているかを調べたのが、講義に先だって行った事前調査である。以後、紙幅の都合で調査結果の表のみを掲載する。

表3 附属中学校への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	19 (9)	18 (10)	19 (9)	18 (11)	18 (10)	92 (49)
B 男女共学	16 (9)	13 (9)	0 (4)	15 (9)	7 (4)	51 (35)
C 兄弟	2 (2)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (0)	11 (6)
D 親の勧め	4 (2)	1 (0)	5 (2)	2 (0)	3 (1)	15 (5)
E 歴史・伝統	0 (0)	5 (2)	1 (0)	1 (1)	2 (1)	9 (4)
F 大学進学率	3 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	7 (4)
G 校風	8 (3)	11 (5)	10 (7)	13 (9)	11 (4)	53 (28)
H 先生の勧め	1 (1)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (2)	7 (3)
I 親が卒業生	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (1)	2 (2)	8 (3)
J 他にない	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	4 (2)
K 通学の便	7 (2)	3 (1)	4 (0)	1 (1)	3 (1)	18 (5)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
M 授業の質	1 (1)	4 (2)	3 (1)	0 (0)	4 (2)	12 (6)
N 世間の評判	1 (1)	1 (0)	7 (3)	1 (0)	3 (2)	13 (6)
O その他	1 (0)	1 (1)	6 (4)	2 (0)	1 (0)	11 (5)

表4 附属高への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	21 (11)	15 (8)	22 (11)	19 (8)	19 (10)	96 (48)
B 男女共学	15 (9)	18 (6)	11 (1)	12 (7)	4 (2)	60 (25)
C 兄弟	3 (1)	2 (1)	2 (2)	3 (1)	2 (0)	12 (5)
D 親の勧め	7 (4)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	14 (4)
E 歴史・伝統	4 (3)	8 (4)	3 (1)	4 (2)	1 (1)	20 (11)
F 大学進学率	5 (0)	2 (1)	7 (3)	2 (0)	6 (3)	22 (7)
G 校風	14 (7)	15 (6)	17 (6)	13 (8)	11 (3)	70 (30)
H 先生の勧め	5 (1)	2 (1)	3 (0)	6 (2)	3 (1)	19 (5)
I 親が卒業生	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	5 (1)
J 他にない	7 (2)	7 (4)	6 (5)	9 (4)	11 (3)	40 (18)
K 通学の便	6 (1)	6 (2)	6 (2)	2 (2)	2 (1)	22 (8)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
M 授業の質	3 (2)	6 (2)	5 (2)	5 (2)	3 (0)	22 (8)
N 世間の評判	4 (2)	5 (1)	7 (2)	5 (2)	4 (3)	25 (10)
O その他	1 (0)	1 (1)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	6 (2)

(表5, 6は次ページ)

表7 志望校（または大学所在地）選択の動機

男子（37回答）

- I. 目標確定型（6回答・16.2%）
- II. 情報把握型（4回答・10.8%）
- III. 支持共感型（14回答・37.8%）
- IV. 近隣志向型（4回答・10.8%）
- V. 環境変革型（7回答・18.9%）
- VI. その他（2回答・5.4%）推薦で学費が超安くなるところがある／大阪が地元であること。レベルが高い

女子（39回答）

- I. 目標確定型（4回答・10.3%）
- II. 情報把握型（2回答・5.1%）
- III. 支持共感型（10回答・25.6%）
- IV. 近隣志向型（11回答・28.2%）
- V. 環境変革型（6回答・15.4%）
- VI. その他（6回答・15.4%）学費が安いから。面白い人が集まっているから／国公立だから／国立／なんとなく／実家が東京にあるから／周りに勧められたから。行きたい学部で質のいいものがあるから

表8 進路決定に影響力のあるもの(第1位)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	4 (2)	5 (4)	3 (0)	2 (1)	5 (4)	19 (11)
B 母親	2 (0)	3 (2)	3 (2)	4 (3)	0 (0)	12 (7)
C 兄弟	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)
D 祖父母	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)
E 親類	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
F 教師	3 (1)	1 (0)	4 (1)	1 (0)	1 (1)	10 (3)
G 友人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (1)
H その他	6 (4)	6 (3)	6 (4)	4 (1)	2 (0)	24 (12)

表9 進路決定に影響力のないもの(複数回答)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	6 (3)	2 (2)	4 (2)	3 (1)	2 (0)	17 (8)
B 母親	1 (1)	1 (1)	3 (1)	3 (0)	2 (0)	10 (3)
C 兄弟	11 (3)	7 (4)	5 (1)	7 (3)	4 (2)	34 (13)
D 祖父母	11 (2)	7 (4)	8 (3)	5 (2)	4 (2)	35 (13)
E 親類	11 (3)	7 (4)	7 (3)	5 (2)	4 (2)	34 (14)
F 教師	2 (1)	5 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (0)	12 (5)
G 友人	6 (3)	8 (5)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	22 (13)
H その他	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)

表10 大学に期待すること

就職に役立つこと(34件・20.0%) / 質の高い教師や教育内容(36件・21.2%) / 自分の能力を高めてくれること(12件・7.1%) / 楽しいキャンパスライフ(14件・8.2%) / 充実した教育研究環境(20件・11.8%) / 自由(33件・19.4%) / 人との出会い(4件・2.4%) / その他(6件・3.5%・お金の安さ、世間体、楽しさ・学費の安さ・学費の安さ・知名度・食堂の質・など) / わからない(11件・6.5%)
--

表11 大学のイメージ

自由(74件・43.0%) / 楽しそう(20件・11.6%) / 高度な教育研究(37件・21.5%) / 自律的な学習・生活(23件・13.4%) / 充実した教育研究環境(7件・4.1%) / その他(9件・5.2%・みんなアルバイトしてて、大学には卒論を書きに行っている・中学、高校とは全く違うような感じだと思っている・昔は数が少なくて良かったけど、最近はいんまり良くない・大人の世界・など) / わからない(2件・1.2%)

表5 進学大学の具体化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 考えている	21 (9)	20 (10)	20 (10)	19 (10)	14 (9)	94 (48)
B 考えていない	17 (8)	17 (7)	19 (7)	17 (6)	22 (6)	92 (34)

表6 進学大学の所在地

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
B 関東	9 (2)	8 (3)	10 (5)	8 (3)	6 (3)	41 (16)
E 近畿	8 (5)	5 (2)	3 (1)	5 (3)	3 (2)	24 (13)
F 中国	3 (2)	6 (4)	6 (4)	6 (3)	5 (4)	26 (17)
H 九州・沖縄	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (2)

注:「A北海道・東北」「C甲信越・北陸」「D東海」「G四国」「I外国」は回答者なし

表12 今回の大学史の授業内容への興味

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても興味がある	4 (1)	2 (1)	3 (1)	1 (1)	3 (2)	13 (6)
B 少し興味がある	10 (4)	9 (4)	15 (5)	1 (1)	9 (5)	44 (19)
C どちらともいえない	22 (11)	17 (11)	18 (9)	19 (7)	22 (7)	98 (45)
D あまり興味がない	0 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	6 (0)
E 全く興味がない	1 (0)	2 (0)	1 (1)	9 (3)	2 (1)	15 (5)

表13 興味がある理由

自分には大学についての知識が少ないと思うので、これを機に知れたらなあという思い／自分の進路を明確に決める手助けになると思うから／大学というものがどういうものかを知りたいから／これからの大学選択につながるから／とても詳しく教えてくれそう、というイメージ／進学や、就業のことをなるべく早く決めたいと思ったから／先生に言われてふと疑問に思ったから／大学進学の意味・目的を知りたいから／聞いたことがないので／知っておきたいことだから／面白そうだから／歴史が好きだから／など、52回答

表14 興味がない理由

“過去”を聞いたことによる利点がみうけられないから／興味がないから／身近に感じないから／得にならん／難しそうだから／話を聞くのがめんどくさい／そんなに重要と思えない／今のところ、進路に関心がない／将来のことをあまり思わない、考えない／聞くより実際に体験したい／など、19回答

表15 大学史の授業に期待すること

具体的な授業の様子。卒業後の進路(職業)／今やっておいた方がいいこと／知らないようなこと、役に立つこと／大学って何か？／明治以降の歴史の歩み／大学生の生活がどんなものなのか、授業などがどういう仕組みになっているのか知りたい／興味のひかれる話だといいな／大学のことやいろいろ得するアドバイスを期待／大学を選ぶのに役にたつ話／大学の方針や内容／分かりやすく面白く面白く／眠たくなならない内容／楽しい話／どんなことを校風？としているか／など、85回答

表16 今回の大学訪問に期待すること

どんなことをしているのか／学部の内容だけでなく、雰囲気もつかめれば良いと思います／どこでどんなことを学べるのか、よく教えてほしい／どんな学部なのかこの目で見る／学生食堂／最先端技術を見ること／施設を見学できること／大学生の生活がどんなものなのか、授業などがどういう仕組みになっているのか知りたい／今からやっておくべきことを大学生本人に教えてもらう／進路が確実に決まること／分かりやすく面白く面白く。すばらしい！と思わせてくれることを期待！／など、158回答

表17 広島大学への進学について

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても進学したい	4 (2)	4 (2)	5 (3)	4 (2)	6 (3)	23 (12)
Bできれば進学したい	7 (2)	9 (6)	10 (2)	3 (1)	5 (4)	34 (15)
Cどちらともいえない	21 (12)	19 (8)	18 (10)	21 (9)	20 (5)	99 (44)
Dできれば進学したくない	3 (0)	2 (0)	3 (1)	2 (0)	5 (3)	15 (4)
Eまったく進学したくない	2 (0)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	10 (3)

表18 進学したい理由

ふるさと卒がある、国立／家から通えるし、設備も環境も充実しているから／教育系の勉強をしたいため／広島だし、国立だし、親孝行だし。興味も色々ある分野見つけられそう／就職しやすいし、自分のやりたいことを学べるから／広島にあるから。実習生を見ていてとても楽しそうだから／授業の質が高いから。兄弟が通っているから。附属高校から多くの人が行くだろうから／近いし、評判もいい／中国地区では有名だから／“広島”であるし、学部によっては、レベルも高いから／国立で近場だから／など、56回答

表19 広島大学を決めかねる理由

まだまだ分からない／可能ならば、もっとレベルの高い大学へ行きたい／県外に出たいけど広島がいやなわけではないから／他の大学が受かりそうになれば広島大学／地元だから、行きたいけど、関西にも行きたい／良く知らないから／そもそもまだ自分のしたいことが明確でないから／まだどの学部に行くか迷っているから。医学部に決めたら広大に行きたい／学びたい学部がないから／県外の学校に進学して、視野を広げたいから／広島を出て一人暮らしをしたいから／他の大学もいろいろ見て決めたい／など、96回答

表20 進学したくない理由

広島を出て一人暮らしをしたいから／県外に出たい。親類が全員広大…／レベルが低くなってきているから／他に行きたい学校があるから／他県に行きたいから／大学の場所／もっと高い所を目標としたいから／広島にいたくないから／企業と連携したいから／など、26回答

表21 広島大学のイメージ

うーん、いい感じにthe大学って感じ？／えらい。自由そう／教育学部が強そう…／大都市が近郊にあることを活かした社会に密着したいいろいろな分野における実践的な学習スタイル／近くで一番レベルの高い大学。田舎／医学・教育学部／行くのが不便そう／難関大／など、147回答

C適度だった	30 (13)	29 (15)	33 (14)	28 (13)	34 (15)	154 (70)
D易しかった	5 (2)	6 (1)	4 (2)	5 (3)	2 (0)	22 (8)
Eとても易しかった	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)

3. 事後調査の結果

事後調査では、講義「日本の大学の歴史」についての受講前の期待との適合度、内容への興味、難易度、満足度、広島大学に関する認識、志望校、広島大学への進学希望の変化の有無を尋ねた。

表22 講義の期待適合度

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A期待通り	8 (4)	5 (4)	7 (1)	10 (5)	10 (3)	40 (17)
Bある程度期待通り	12 (5)	17 (5)	19 (7)	10 (4)	13 (6)	71 (27)
Cどちらでもない	14 (7)	15 (8)	9 (6)	16 (7)	12 (5)	66 (33)
Dあまり期待通りではない	2 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	6 (4)
E期待はずれ	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)

表23 講義の内容への興味

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても興味を覚えた	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (3)
B興味を覚えた	13 (7)	9 (6)	11 (5)	9 (5)	11 (6)	53 (29)
Cどちらでもない	17 (7)	24 (9)	24 (10)	21 (11)	24 (8)	110 (45)
Dあまり興味を覚えなかった	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (1)	8 (1)
E全く興味を覚えなかった	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (0)

表24 講義の難易度

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても難しかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
B難しかった	1 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	5 (2)

表25 講義の満足度

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても良かった	1 (0)	1 (0)	3 (3)	2 (0)	6 (2)	13 (5)
B良かった	17 (9)	18 (12)	18 (5)	14 (11)	9 (6)	76 (43)
Cどちらでもない	17 (6)	19 (5)	14 (7)	18 (5)	21 (8)	89 (31)
Dあまり良くなかった	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
E全く良くなかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)

表26 講義の他の附属生への推奨度

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても勧めたい	2 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)
B勧めたい	9 (4)	10 (6)	5 (4)	5 (3)	10 (4)	39 (21)
Cどちらでもない	22 (8)	24 (11)	30 (12)	29 (12)	27 (12)	132 (55)
D勧めたくない	3 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)
E全く勧めたくない	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)

表27 講義の同世代への推奨度

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても勧めたい	2 (2)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (2)
B勧めたい	5 (1)	4 (2)	4 (3)	6 (4)	5 (1)	24 (11)
Cどちらでもない	27 (12)	31 (15)	29 (13)	27 (12)	28 (14)	142 (66)
D勧めたくない	3 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	7 (1)
E全く勧めたくない	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)

表28 講義の続きを受けたいか

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても思う	1 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	8 (1)
B思う	18 (8)	13 (10)	17 (5)	13 (6)	13 (5)	74 (34)
Cどちらとも いえない	13 (6)	16 (6)	11 (6)	16 (8)	18 (10)	74 (36)
Dあまり思わ ない	4 (2)	5 (0)	7 (5)	4 (2)	3 (1)	23 (10)
E全く思わな い	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	6 (0)

表29 広島大学に関する認識

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても変 わった	3 (0)	0 (0)	5 (1)	2 (1)	1 (1)	11 (3)
Bある程度変 わった	17 (8)	9 (5)	10 (4)	16 (8)	10 (5)	62 (30)
Cどちらでも ない	12 (7)	26 (11)	17 (9)	13 (6)	21 (10)	89 (43)
Dあまり変わ らなかった	4 (1)	1 (0)	4 (2)	1 (0)	3 (0)	13 (3)
E全く変わら なかった	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (0)

表30 志望校の変化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A変化した	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (1)
B変化しな かった	35 (16)	37 (16)	33 (15)	35 (15)	36 (15)	176 (77)

表31 広島大学への進学

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
Aとても進学 したい	2 (1)	5 (3)	4 (3)	2 (2)	4 (3)	17 (12)
Bできれば進 学したい	5 (3)	11 (6)	11 (1)	6 (2)	7 (3)	40 (15)
Cどちらとも いえない	24 (12)	16 (5)	16 (9)	22 (10)	22 (8)	100 (44)
Dできれば進 学したくない	3 (0)	2 (2)	4 (2)	4 (2)	2 (1)	15 (7)
Eまったく進 学したくない	2 (0)	3 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	7 (1)

4. 小 括

以上提示したデータによれば、本調査において次のことが分かった。

大学史の講義は実施の前後ともに生徒の興味を引き（表12、表23参照）、実施後の調査では31.7%の生徒が講義内容に興味を覚えたと回答した。これは興味を覚えなかったとの回答の比率7.2%を大きく24.5%上回った結果となった（表23より算出）。このような肯定的意見と否定的意見の比率の差を項目ごとに見ていくと、講義が事前の期待通りであったか（表22）は55.7%（{肯定的意見（A+B）の比率}－{否定的意見（D+E）の比率}の数値、以下同じ）、講義を受けて良かったか（表25）は46.7%と大きく上回った。また、講義を附属高の他の生徒に勧めたいか（表26）は19.3%、同年代の高校生に勧めたいか（表27）は11.0%、講義の続きを受けたいか（表28）は28.6%、とそれぞれ肯定的意見が上回った。

自由記述回答においては、講演内容への興味について、「広島大学についてよく知らなかったのだが、歴史があることと、地方だからこそその良さに惹かれた」「大学の進路を考える上で、歴史とかも知っているといいなと思った」などの肯定的意見が57件、「歴史には興味がない」「第1研修室ではなくキャンパスの中で受けたいから」などの否定的意見が12件あった。講演を受けて良かったと思うかどうかについては、「大学の歴史や特徴がよく分かったから」「広島の歴史を知っておいて損はないと思うから」「志望する大学について違う意見も聞けた。広い視野で考えられるようになった。」などの肯定的意見が88件、「あまり内容に興味をもてなかった」「理解できてない感じがあるから」などの否定的意見が4件あった。

大学史の講義を他の生徒に勧めたい理由として「大学のしくみについてよくわかったから」「わかりやすかったし、大学の講義が体験できていいと思う」「自分の学校の歴史を知るのはおもしろいことだから」といった意見が42件あり、「興味をもてなかったので面白みを感じられなかった」「少し長くて眠ってしまった」という否定的意見は6件あった。

なお、広島大学への進学に関しては、事前調査では肯定的意見が否定的意見を17.7%上回っていたが、事後調査においては19.6%へと変化し、若干の上昇を見せた。これは「まったく進学したくない」の回答数が減ったためである。但しその一方で「とても進学したい」の比率を3.2%減じさせる結果となった。

以上の結果、大学史教育が生徒の進学適性に対する自覚の形成に一定の意義を有していることが第2期の最終調査においても把握できた。